

2024年9月期第2四半期決算についてよく頂く質問と回答

この質疑応答集は、5月8日（水）に開催した決算説明会以降に、株主様、投資家様からいただいた質問の中から、決算に関するよくいただく質問、理解促進につながると思われる質問をピックアップし、回答をまとめたものです。今後も日々いただくご質問のなかから重要なものをアップデートして参ります。

Q1. 目標を ROE10%と設定した理由は？

当社は、前期こそ ROE10%を達成しておりますが、それ以前までは 10%を下回る年度もございました。また、経済産業省がまとめた報告書、所謂伊藤レポートにおいて、ROE8%目標が示されていることも踏まえ、最低限の達成すべきラインとして今回 ROE10%を設定しました。今後、中期的に目指すべき ROE の目標値に関しては社内で議論した上で今後の開示を検討します。

Q2. 中期目標の営業利益 50 億円のうち 10 億円超は M&A による営業利益の積み増しによるイメージ、とのことだが、営業利益を 10 億円以上創出している企業を買収するのか？

10 億円の利益を出している企業の M&A というよりは、その途上にある企業を M&A し、当社グループで 10 億円の利益を出せる事業に成長させるという想定です。M&A の対象も、グローバルコマース事業もしくはエンターテインメント事業に係わる分野で、取り扱い商材の拡充や物流・オペレーションの強化、顧客の拡大に繋がるような領域で M&A を積極化したいと考えています。

Q3. エンターテインメントの Groobee 事業の利益貢献はいつ頃か？

Groobee に関しては、導入アーティストのイベント開催の有無によって流通のポラティリティが高く、継続的な黒字化は果たせていない状況です。一方で、流通総額の規模としては安定した利益創出が見えてきていますので、さらに流通を伸ばすことで来期は継続的な黒字を目指すことができる状況だと考えています。

Q4. インキュベーション（投資事業）の損益を営業外損益として計上することは出来ないのか？

連結営業利益の安定成長のために、当社としても過去検討は行いましたが、監査法人と協議し会計基準などに照らすと実現の難易度は高いという実情です。本事業は、直近では新規の純投資は行っておらず、既に保有している投資先に関しても今後タイミングを見て売却を実施しますので徐々にその規模を縮小する方針であり、中長期的には、連結営業利益に与える影響が小さくなることを見込んでおります。

Q5. オフィスの移転の関連費用は今期と来期、それぞれいくら掛かるのか？

オフィス移転関連費用として今期は数千万円ほどの増加を見込み、業績予想に織り込んでいます。これは当初の



想定より工期が伸びたことによって移転先の家賃発生の開始が早くなったためです。移転自体は来期のため、引っ越しの費用や、原状回復工事完了までの二重での家賃支払いなどを加味し、来期の移転関連の一時費用は1億円弱を見込んでいます。ただし、各費用は現在詳細を詰めている段階であり、前後する可能性がありますのでご注意ください。

以上